

會報

小春日和の十月十二日午後二時より第四十六回本會例会を麻布幼稚園に於て開く中村本會主幹の既會の辭のち東京高等師範學校附屬小學校加藤訓導の「小學校より見たる幼稚園」なる演題のもとに有益なる話をき、一同耳をひき立てぬ。やがて茶菓にうつり記念撮影後散會したるは午後五時なり。

なほ當幼稚園は本年四月より麻布區教育會の事業として設立せられたるものにて閑静なる紀州侯邸内にあり有志關係者保姆熱心に斯道の爲め盡粹せられつゝあり、



會費領收

姓	自何年何月	至何年何月	金額
島村	四〇、八	四〇、一二	五〇
孟歌子	四〇、九	四一、七	一、二〇
赤星千代	四〇、七	四二、二	二、〇〇
吉田すゑ	四〇、七	四〇、一二	六〇
鳴谷尋常小學校	四〇、九	四一、一二	六〇
和田耕月	四〇、一	四〇、一〇	一、〇〇
和田織衛	四〇、一	四〇、一〇	一、〇〇
吳和歌	四〇、九	四一、一一	一、五〇
加藤貞子	四〇、八	四一、一〇	一、五〇
小澤久良	四〇、七	四〇、一二	六〇
福田ゆき	四〇、八	四一、一二	七〇
伊藤冬	四〇、七	四〇、八	二〇
鈴木まこと	四〇、七	四〇、九	二〇
土保かほ	四〇、七	四〇、一二	六〇
平塚みほ	四〇、五	四〇、七	三〇
波邊榮	四〇、八	四〇、一二	五〇
小野房	四〇、四	四〇、一二	九〇
石野つや	四〇、八	四〇、一二	五〇
竹島久萬恵	四〇、九	四一、一二	六〇
勝村こま	四〇、一	四〇、三	三三

一、二〇	四〇	六〇	八〇	一、二〇	一、二〇	三〇	三〇	一、二〇	九〇	一、二〇	二、〇〇	一、五〇	一、〇〇	一、二〇	六〇	六〇	五〇	六〇	一、二〇	一、〇〇	五〇	五〇	七〇		
四〇、一	四〇、一	四〇、四	四〇、一	四〇、一	四〇、一	四〇、九	四〇、九	三九五	四〇、四	四〇、一	三九四	四〇、一〇	四〇、三	四〇、五	四〇、一〇	四〇、四	四〇、八	四〇、二	四〇、一	四〇、七	三九、一〇	四〇、七	四〇、八	四〇、六	
四〇、二二	四〇、四	四〇、九	四〇、八	四〇、二二	四〇、二二	四〇、一一	四〇、一一	四〇、四	四〇、二二	四〇、二二	四〇、二二	四〇、二二	四〇、二二	四〇、四	四〇、五	四〇、九	四〇、二二	四〇、二二	四〇、二二	四〇、七	四〇、七	四〇、一一	四〇、一一	四〇、一二	四〇、一二
澤村柳君	太田捨子	司馬のぶ	福岡吳子	川上光	小松ほみ	澤本み	橋本でる	勝目加代	横澤てい	高橋いち	千崎如幻	曹典初	奥村か	館つね	平野なほ	長崎幼稚園	飯沼しづ	阿部イノ	脇野ついで	小原藤枝	丸山まさ	山内定次郎	小山くわ	福田ふく	

八〇	一、〇〇	八〇	一、〇〇	一、二〇	五〇	八〇	一、〇〇	一、〇〇	八〇	六〇	一、〇〇	一、〇〇	五〇	五〇	一、〇〇	五〇	一、五〇	一、五〇	二、〇〇	一、〇〇	一、二〇	一、〇〇	七〇	二〇	五〇	
四〇、八	四〇、一一	四〇、八	四〇、六	四〇、一	四〇、一〇	四〇、八	四〇、一〇	四〇、一〇	四〇、八	四〇、一〇	四〇、一〇	四〇、二	四〇、一〇	四〇、六	四〇、六	四〇、二	四〇、二	四〇、二	四〇、一	四〇、一〇	四〇、一〇	四〇、一〇	四〇、六	四〇、六	四〇、二	四〇、二
四一、三	四一、八	四一、三	四一、三	四〇、一二	四一、二	四一、三	四一、七	四一、七	四一、三	四一、三	四一、七	四〇、一一	四一、二	四〇、一〇	四一、三	四〇、一〇	四一、四	四一、九	四一、九	四一、一〇	四一、九	四一、七	四〇、三	四〇、七	四〇、六	四〇、六
杉本そと子	北野晴	佐々木まさみ	江藤いつき	山崎いよ	江原たつ	浅岡はま	中島まさ	小森てる	星野ひさ	饗庭なほ	上田敬太郎	武石八重	藤澤さつき	坂元つや	伊藤政良	坂元とめ	松田とし	桂乙和	内藤いね	今村琴猪	伊藤高子	海寶ちばな	青山たか	山口伊三郎		

